

2025年度 第2回須坂市公民館運営審議会 会議録(要旨)

- 1 開催日時 2026年3月11日(水)午後1時30分～午後3時
- 2 開催場所 須坂市生涯学習センター(3階)
- 3 出席議員 13人
梅本委員、宮入委員、竹前委員、花房委員、吉崎委員、中澤(秀)委員、横山委員
村松委員、荻原委員、田所委員、武田委員、山岸委員、荒井議員
- 4 欠席委員 3人
南山委員、永藤委員、丸山委員
- 5 事務局 12人
坂田社会共創部長、寺澤生涯学習推進課長兼中央地域公民館長
滝澤南部地域公民館長、徳永日滝地域公民館長、滝澤豊洲地域公民館長
平林旭ヶ丘ふれあいプラザ館長、山岸日野地域公民館長、牧井上地域公民館長
飯塚高甫地域公民館長、上原仁礼コミュニティセンター館長
島田学習推進係長、杉山管理係長
- 6 配布資料
 - ・資料1 2025年度 事業実施状況報告書(2025年4月～12月)
 - ・資料2 公民館施設使用料について
 - ・資料3 2026年度事業の主な変更点について
 - ・須坂市公民館運営審議会委員名簿
 - ・【参考】須坂市公民館条例
- 7 会議状況 各事項について事務局説明後、質疑
 - (1) 2025年度事業実施状況について
 - 委員:夏休み期間中にドローン講習会を行った目的は何か。

事務局:隣接する児童クラブの4～6年生の児童の参加があった。児童に公民館の施設に馴染んでほしいと思い開催した。また、ドローンが今注目されており、児童にとって関心がある内容と考えたので計画した。
 - 委員:自分の町以外の公民館で開催する事業の見学は可能か。分館等で行う行事の参考にしたい。

事務局:事前に連絡をいただくことで見学が可能。平日開催が多いが、土日開催の講座

もあるのでは是非見学や参加をしてほしい。

委員:高齢者向けの椅子を使った体操や、手軽にできるリズム体操の講座などがあれば教えてほしい。

事務局:公民館主催の講座の他にも、市内で高齢者向けのサークルや体操教室が、数多く実施されている。高齢者向けの健康サークルについては、市の包括支援センター等で作成したチラシに記載がある。開催日時や場所、参加料等も記載されている。自分に合った体操がどこで行われているのか分かるようになっているので、是非参考にしてほしい。

委員:財政的にも大変厳しい中であるが、高齢者向けの健康づくり講座は、今後大変重要なものになっていくと思う。須坂市と包括連携協定も結んでいる民間企業では、無料で実施できる講座があるようなので、各地域で積極的に活用して行ってほしい。また市も各地域へ情報の提供をしていただきたい。

(2)生涯学習センター・各地域公民館の施設使用料について
質疑等なし

(3)公民館施設の一部廃止について

- ① 日野地域公民館屋外コートについて(2026年3月末廃止)
- ② 日野地域公民館多目的ホールについて

委員:地域住民の意向を汲み取り詳細説明をいただくとともに、住民理解を得るようにお願いしたい。

(4)仁礼コミュニティセンターの運営体制変更について

委員:永楽荘の建物はどうなるのか。

事務局:永楽荘は、須坂市社会福祉協議会の管轄である。協議会の方でこれから検討していくと聞いている。

(5)2026年度事業の主な見直しについて

- ① 須坂市二十歳を祝う会の運営見直しについて
- ② 須坂市民学園の運営見直しについて

委員:市民学園が3学年制に変更となるが、(学習)内容は決定しているということか。また、これまで各クラブに対して補助してきた講師謝礼を撤廃・廃止することは、どういう意図があるのか。

事務局:3学年制の学習内容は、具体的に決まっていらないが、須坂市内を学ぶことを重点において内容を決めたいと思っている。学習内容は、2026年度自治会役員会

の中で決めていく。クラブ活動費の講師謝礼については、他の社会教育団体との整合性も考慮し、財源も厳しい中であることから見直しを行うこととし、来年度から削減することとした。

委員:5学年制から3学年制になるのは、人数が確保できないから短くするのか、その他に理由があるのか確認したい。クラブの講師の謝礼に関しては、謝礼がないことによって内容が希薄になるのではないかと、それによりさらに人が集まりにくくなるという危惧があるが、どのように考えているか。

事務局:5学年制は長いという市民の声が多かった。市民学園が発足した当初、学園生の平均年齢66.2歳だった。2025年度では74.6歳と、約10歳近く引き上がっている。これにより自分自身の5年先の状況が分からず、学園に入りにくいという声が多い。3学年制にすることで、入りやすい体制を作りたい。また、講師の謝礼削減については、もし講師を呼ぶ場合は、希望するクラブの中で参加費を集めて講師を呼びたいと考えている。

8 その他

委員:本日は3月11日ということで、防災について考えていた。長野市の長沼では、地区や自治会が公民館で協力をして、防災に関して地域ぐるみで取り組む姿勢ができています。須坂市のどの地域でも防災に関しての知識は、住民に必要であると思う。日本防災士会長野県支部で開催された講演を聞いたことがある。講師の先生は、各被災地で災害支援に関わったことを通し、避難方法や防災グッズなど、最新の取組みについて話がありとても有意義だった。

防災の講座は、各地域館でどのように実施されているか教えてほしい。

事務局:高甫地域公民館では、年に一回大人向けの防災セミナーを実施している。井上地域公民館では、日赤長野支部の職員を講師とし、区長や町の役員等中心となり、防災講演会や避難場所準備訓練を実施した。仁礼コミュニティセンターでは、市の総務課危機管理係による防災関係の講義を実施したり、気象台の先生から話をしてもらった。また、地域に医療的ケアが必要な子どもがいるので、必要な支援等を看護大学の教授を呼んで講演いただいた。来年度に向けて考えていることは、長野地域の活断層に詳しい先生から、地域の地震関係の話をしていただこうと交渉している。いずれにしても、年1回は地域の防災のこと、避難所になっている公民館のことを知る機会を作りたい。地域にある福祉施設や学校の職員や子どもたちも交えて防災訓練等を継続してできればと思っている。その他、全国の公民館運営協議会で長野県の防災の取り組みの報告会が予定されているので、各地域館の職員に呼びかけ積極的に参加していきたい。

委員:防災については、地域住民に有益な情報であるので、取り組みを検討していただきたい。

事務局:委員報酬を4月上旬までに指定口座に振り込む予定(学校関係者の委員は無報酬)

以上